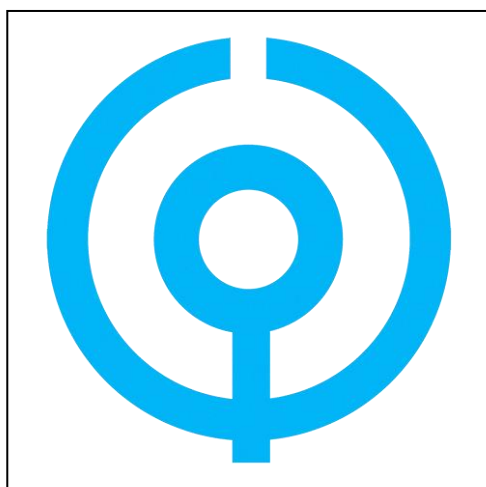


事業報告書

平成30年度
自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日



公益社団法人全国子ども会連合会

東京都文京区大塚 6-1-14 全国子ども会ビル
<https://www.kodomo-kai.or.jp>

■事業統括

まずは、前年度の不祥事によって失った子ども会への信用を、皆様のお力をもって信頼回復の第一歩を踏み出し、2018年度の全子連事業が円滑に運営されましたことに厚くお礼申し上げます。

2012年に安全共済会の発足にあたり文科省との合意事項であった共済事業継続のための会員420万人の維持も、毎年全国の子ども会は約15万人の会員減少という厳しい状況が続き、現状といたしまして2018年度末335万人まで減少しました。

このことは、安全共済会（新しい制度共済）へ移行してから、各地の子ども会活性化のために会員の皆様からの支えで支援してまいりました各地区事業支援、各都道府県・指定都市子連への諸支援の見直しはもちろん、安全共済会運営そのものの見直しをせざる負えない危機的状況だということを私たち関係者が意識の共有をし、今年度だけの問題として検討するのではなく、長期的なビジョンを早い段階で具体的に打ち出す必要があります。

しかし、そのような危機的状況の中、今年度も会員の皆様による安全に対する意識の向上、また安全啓発事業の普及、徹底の成果で、共済金の支払いが大幅に減少し、安全共済会自体が健全に運営なされていることは、組織運営の上では明るい材料です。いずれにしても平成30年度としては、前年度の不祥事による信頼の失墜を払拭するために前向きな成果が表れてきたことを明るい未来への第一歩としていきたいと思います。

以上のことをふまえ、2018年度の運動方針に沿って総括すると、

1. 未来像の策定として、子ども会未来委員会を前年度に設立し、今年度は中央会議・研究大会の分科会で本来もっている子ども会の良さを確認する作業に取り組み、また現在は子ども会基本用語の整理にも取り組んでいます。
2. 地区活性化の課題として、平成28年度に各地区で子ども会推進研究会を立ち上げ、今年度も引き続き各地の子ども会での問題点・課題に積極的に取り組んでいただいております。
3. シニア・リーダーの養成の課題として、今年度シニア・リーダー研修会を全子連ユースが運営いたしました。自らが地域を担っていくべきリーダーに成長していくための研修を行い、各地の問題点を共有しました。
4. 事務局活性化と寄付金の拡大として、安全共済会の新システム導入を進め、事務担当者の負担軽減につとめ、本来の子ども会運営の安定を図ってきました。また寄付金を広く募っていくため、ソフトバンクのつながる募金を開始しました。

育成者・指導者の後継者問題、人口の自然減少以上の加速的な会員の減少、本来の子ども会の活動基盤である単位子ども会の存続、地域の子ども会に位置づくジュニア・リーダー、シニア・リーダーの養成、事務局の負担軽減など、子ども会の未来に様々な問題を抱えています。今まで以上にこれらの取組みを丁寧に継続発展させていくことで、地域において充実した子ども会活動を継続できることを確信しております。

■組織の状況

I 組織の状況

1 平成30年度の会員状況

正会員：59（46都道府県＋13政令指定都市）

2 役員に関する事項

(1) 当該年度末時点で在籍している役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任年月日	任期満了	重要な兼職の状況
河本 功 (静岡県)	会長		平成30年 5月30日	※	
野瀬 武敬 (名古屋市)	副会長	事業	平成30年 5月30日	※	
佐々木 正市 (秋田県)	副会長	指導者育成	平成30年 5月30日	※	
美田 耕一郎 (鳥取県)	副会長	共済事業	平成30年 5月30日	※	
大鹿 良夫 (埼玉県)	理事		平成30年 5月30日	※	
内藤 進 (栃木県)	理事		平成30年 1月24日	※	
市川 賀三 (愛知県)	理事		平成30年 5月30日	※	
山崎 暢子 (福井県)	理事		平成30年 5月30日	※	
安部 侃 (滋賀県)	理事		平成30年 5月30日	※	
小手川 和彦 (大分県)	理事		平成30年 5月30日	※	
長 秋美 (宮崎県)	理事		平成30年 5月30日	※	
中山 良明 (大阪市)	理事		平成30年 5月30日	※	
新田 新一郎 (学識経験)	理事		平成30年 5月30日	※	
河村 隆 (学識経験)	理事		平成30年 5月30日	※	
山本 哲哉 (学識経験)	常務理事		平成30年 5月30日	※	
中山 ひろみ (大阪府)	監事		平成30年 5月30日	※	
丸山 康昭 (熊本県)	監事		平成30年 5月30日	※	

※任期満了は、2021年度定時総会の終結の時。

(2) 平成30年度中に退任した役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任年月日	退任の理由
小林 幸男 (岐阜県)	理事		平成28年5月30日 ～平成30年5月28日	県代表者辞任のため
正木 明 (石川県)	理事		平成28年5月30日 ～平成30年5月30日	任期満了のため
池田 龍男 (福岡県)	理事		平成28年5月30日 ～平成30年5月30日	任期満了のため
丸山 康昭 (熊本県)	理事		平成28年5月30日 ～平成30年5月30日	任期満了のため
成田 國英 (学識経験)	理事		平成28年5月30日 ～平成30年5月30日	任期満了のため
吉寄 三義 (学識経験)	理事		平成28年5月30日 ～平成30年5月30日	任期満了のため
梅本 寛人 (学識経験)	監事		平成28年5月30日 ～平成30年5月30日	任期満了のため

II 都道府県・指定都市子連の状況

1 代表者の交代による新規会員

県・市	新代表者	旧代表者	異動年月日	備考
相模原市	菅野 泰男	藤田 清	平成30年4月2日	
島根県	小谷 徹	磯田 謙一	平成30年4月24日	
岐阜県	伊藤 和男	小林 幸男	平成30年5月28日	
福岡県	原田 正文	池田 龍男	平成30年6月3日	
札幌市	田中 昭夫	佐藤 欣一	平成30年6月24日	

2 会員都道府県・指定都市子ども会連合組織

別紙1 参照

■事業報告

I 公1事業（連合会事業）

1 指導者及び育成者相互の連携事業

(1) 地区子ども会推進研究会

ア) 日 程：下記日程で開催した。

イ) 内 容：子ども会発展のため指導者、育成者の協議の場として地区の子ども会活動の振興に資するため開催した。

ウ) 負 担 金：平成29年度の共済会加入人数×1円を限度に運営費の一部を全子連が負担した。

地区	担当県	開催日・会場
北海道地区	北海道子連	①5月12日(日) かでの2・7 9階 当会会議室 ②7月12日(木) かでの2・7 9階 当会会議室 ③2月19日(火) かでの2・7 9階 当会会議室
東北地区	秋田県子連	①9月24日(日) 仙台市生涯学習支援センター ②11月10日(土) 天童温泉 ほほえみの宿 滝の湯 ③2月9日(土) 宮城野区中央市民センター
関東甲信越静地区	神奈川県子連	①6月9日～6月10日 (土・日) 全子連ビル ②9月15日～9月16日 (土・日) 全子連ビル
東京	東京都子連	①2月21日(木) 全子連ビル
東海北陸地区	愛知県子連	①6月22日(金) 愛知県社会福祉会館 ②9月18日(火) 愛知県社会福祉会館 ③11月22日(木) 愛知県社会福祉会館
近畿地区	和歌山県子連	①7月26日(木) 奈良県社会福祉センター ②1月21日(土) 湯浅温泉湯浅状城
中国四国地区	鳥取県子連	①9月29日(土) きらめきプラザ(岡山県) ②3月23日(土) きらめきプラザ(岡山県)
九州沖縄地区	熊本県子連	①7月28日(土) ホテル熊本テルサ ②3月16日(土) ホテル熊本テルサ
指定都市地区	名古屋市子連	①11月23日(金) 名古屋市中区役所

(2) 子ども会未来委員会

地 区	氏 名	所 属	地 区	氏 名	所 属
北海道	木村 謙治	北海道	近 畿	小川 佳映	大阪府
東 北	高橋 昌樹	青森県	近 畿	浅見 真一	兵庫県
東 北	野崎 一	秋田県	中国四国	安倍 悟	鳥取県
関東甲信越静	矢後 紀夫	栃木県	中国四国	山下 昌彦	山口県
関東甲信越静	関根 雅治	埼玉県	九 州	井立 伸一	熊本県
関東甲信越静	大作 公明	長野県	九 州	青矢 順子	鹿児島県
東京都	該当者なし	東 京 都	指定都市	木戸 秀典	名古屋市
東海北陸	清水 保夫	富山県	指定都市	藤田 悟	横浜市
東海北陸	福井 靖	愛知県			

ア) 日 程：下記日程で開催した。

イ) 内 容：全国的な視点で、子ども会の今後の在り方等を検討し、将来に亘り子ども会の発展に寄与するため協議した。

①第1回子ども会未来委員会

平成30年6月23日(土)～24日(日) 全子連ビル2・1F 会議室

グループワークを中心に次の内容で検討する。

- ・平成29年度未来委員会報告
- ・目的(理念)について確認
- ・中央会議の部会について(全体)
- ・平成30年度未来委員会のイメージづくり(全体会議)

②第2回子ども会未来委員会

平成30年9月1日(土)～9月2日(日) 全子連ビル2階会議室

グループワークを中心に次の内容で検討する。

- ・平成30年度未来委員会について
用語の整理について等
- ・平成30年度以降未来委員会のイメージづくり(全体会議)

③第3回子ども会未来委員会

平成30年12月16日(土)～12月17日(日) 全子連ビル2階会議室

グループワークを中心に次の内容で検討する。

- ・用語の定義についてグループごとに進捗状況報告
- ・これからの子ども会について
- ・用語定義の整理他

④第4回子ども会未来委員会

平成31年2月24日(土) ホテル金沢 (第52回中央会議・研究大会 第6分科会)

- ・「きかせてあなたのまちの子ども会」をテーマに皆さんの子ども会活動での成功事例を持ち寄り、発表を通じて自分たちの活動に活かす。

(3) 第51回全国子ども会育成中央会議・研究大会

ア) 日 程：平成30年7月14日(土)～15日(日)

イ) 会 場：ローズコートホテル(名古屋市中区大須4-9-60)・中区役所会議室

ウ) 参加者：389名

エ) 参加費：3,000円(情報交換会費、宿泊旅費は参加者負担)

オ) 事業内容：

<1日目(14日)>

- ・ 開会式
- ・ 表彰式
- ・ 記念講演① 「自然から学ぶ 自ら気づき考える力」環境省カウンセラー 篠田陽作氏
- ・ 記念講演② 「色の魔法で幸せがやってくる」美しい生き方研究科 永谷公美英氏
- ・ 受賞者記念撮影
- ・ アトラクション MNC o r p s
- ・ 受賞者を囲む会・情報交換会(ローズコートホテル)

<2日目(15日)>中区役所会議室

- ・ 第1部会 子ども会の目的(理念)に基づいた「子ども会活動」と「連合組織の在り方」について
- ・ 第2部会 これからの子ども会の中でのシニア・リーダーの役割
- ・ 第3部会 J L指導育成と地区J L研修大会の運営について
- ・ 部会発表
- ・ 閉会式

<3日目(16日)>

- ・ 視察研修
レゴランドジャパン・名古屋城・あいち航空ミュージアムなど

(4) 第52回(平成30年度)全国子ども会育成中央会議・研究大会

ア) 日 程：平成31年2月23日(土)～25日(月)

イ) 会 場：石川県立音楽堂コンサートホール(全体会)ホテル金沢(分科会)

ウ) 参加者：657名

エ) 参加費：3,000円(情報交換会費、宿泊旅費は参加者負担)

オ) 事業内容：

<1日目(23日)>

- ・ パイプオルガン演奏

- ・ 子ども芸能発表（子ども梯子のぼり、子ども素囃子）
- ・ 開会式
- ・ 表彰式
- ・ 記念講演① 「これからの出来事、それよりもこれから」 本谷有希子氏
- ・ 受賞者記念撮影
- ・ 受賞者を囲む会・情報交換会（ホテル金沢）

< 2日目（24日） >

- ・ 分科会（ホテル金沢）
 - 第1分科会 「子ども会加入率の向上を目指して」
 - 第2分科会 「育成者・指導者のスキルアップを目指して」
 - 第3分科会 「行政との緊密な連携を目指して」
 - 第4分科会 「シニア・リーダーの育成を目指して」
 - 第5分科会 「これからの子ども会に、シニア・リーダーはどう必要なのか」
 - 第6分科会 「きかせて！あなたのまちの子ども会」
 - 第7分科会 「会長会議」

- ・ 分科会発表（音楽堂）
- ・ 記念講演② 「教育改革と社会が求める人材」 大島淳光氏
- ・ 閉会式

< 3日目（25日） >

- ・ 視察研修
金沢金箔体験や加賀、五箇山など

（5）地区子ども会育成研究協議会

ア) 日 程：地区会長会議において内容を検討し、子ども会発展のため指導者、育成者の情報交換、協議の場として子ども会活動の振興に資するため開催した。

イ) 内 容：開会式、表彰式、記念講演、情報交換会、分科会、全大会、閉会式等

ウ) 負 担 金：平成29年度の共済会加入人数×4円を限度に運営費として
実費を全子連が負担した。

地 区	担当県	開催月日	会 場	参加者数
（北海道）	北海道	10/6（土）～7（日）	釧路町公民館	90名
東 北	山形県	11/10（土）～11（日）	天童温泉 ほほえみの宿 滝の湯	210名
関東甲信越静	栃木県	9/30（日）～10/1 （月）	ロイヤルホテル 那須	347名

(東京都)	東京都	10月28日(日)	かつしかシンフォニーヒルズ別館	194名
東海・北陸	愛知県	10/27(土)～28(日)	名古屋ガーデンパレスホテル	292名
中国・四国	香川県	11/10(土)～11(日)	観音寺市民会館	673名
近畿	奈良県	12/1(土)～2日(日)	橿原ロイヤルホテル・奈良県社会教育センター	466名
九州	大分県	10/27(土)～28(日)	別府市公会堂	373名
指定都市	名古屋市	11/23(土)～24(日)	名古屋市中区役所・名古屋東急ホテル	452名
合計				3,097名

(6) 子ども会応援団の組織化

情報収集に留まりましたが、2019年度には名簿の作成までできるように企画する。

2 子ども会活動の指導及び育成事業

(1) シニア・リーダー（青年リーダー）の子ども会活動への積極的参加

①シニア・リーダーの組織化と活動推進

「子どもの手による子ども会」推進役、ジュニア・リーダーの育成者、地域の街づくりの担い手、将来育成者・指導者として子ども会の発展に尽力すべく、次のような活動をした。

○平成30年度全子連ユース会員の推薦状況

4月23日全国へ依頼文書を発信、前年度からの継続、辞退、推薦を含め計52名。

○平成30年度全子連ユース運営会議

ア) 日程：平成30年6月16日(土)～17日(日)

イ) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟401室

ウ) 参加者：34名 全子連理事5名 事務局2名

エ) 参加費：旅費交通費 宿泊費(オリセン) 全子連負担

情報交換会費2000円各自負担

オ) 実施した主な内容

<1日目(16日)>

全子連ユース運営会議①

主催者挨拶 全国子ども会連合会 河本会長/佐々木副会長
開催趣旨説明 全国子ども会連合会 河本会長
執行部選任 執行部自己紹介 活動の内容説明
全子連ユース運営会議②
部会役割説明 役割分担 自己紹介 副部長選出 議題について協議

< 2日目 (17日) >

部会協議

部会報告会

総評挨拶 全子連ユース代表

総評挨拶 新田理事

総評挨拶 美田副会長 佐々木副会長

②シニア・リーダー研修会

ア) 日程：平成30年9月22日～23日

イ) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

ウ) 参加者：64名 オブザーバー3名 講師1名 全子連理事10名 事務局2名

エ) 参加費：5,000円

旅費交通費 往復の交通費が実費で2万円を超える場合に、2万円超の金額を助成

< 1日目 (22日) >

挨拶 河本会長 佐々木副会長

講義①全国SL研修の変遷と今年度研修の趣旨説明および質疑

講義②子どもと会議とファシリテーター

講義③ジュニア・リーダーのポテンシャルを引き出した研修会についての事例発表
～プロジェクト・アドベンチャーからヒントを得て～

< 2日目 (23日) >

講義④選択制講義

A 様々な個性を持つ子どもたちとの関わり方について

B 人を惹きつけるプレゼンテーション

総評

閉会式

挨拶 河本会長 佐々木副会長

(2)ジュニア・リーダーの指導・育成

①ジュニア・リーダーの在り方及び組織化の研究と推進

30年度に地区子ども会推進研究会並びに全子連ユースの運営の中で具体的な方策を研究した。

②地区子ども会ジュニア・リーダー研修大会

ア) 目的 : 研修、情報交換等を行うことにより、資質の向上を図る。

イ) 内容 : 青少年の自立支援を組み入れ、地域活動への参画を促す。

ウ) 負担金 : 平成29年度の共済会加入人数×1.5円を限度に運営費として
実費を全子連が負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
北海道	北海道	8月9日～12日(木～日)	国立大雪青少年交流の家	154名
東北	青森県	8月10日～12日 (金～日)	むつ市下北自然の家	153名
関東甲信越静	茨城県	8月10日～12日 (金～日)	水戸市少年自然の家	130名
東京都	東京都	5月3日～6日(木～日)	桧原山荘	43名
東海北陸	富山県	8月3日～5日(金～日)	国立立山青少年自然の家	75名
近畿	奈良県	12月1日～2日 (土～日)	橿原ロイヤルホテル・奈良県社会教育センター	466名
中国・四国	岡山市	8月17日～19日 (金～日)	岡山市立少年自然の家	128名
九州	福岡県	8月17日～19日 (金～日)	福岡県立社会教育総合センター	290名
指定都市	相模原市	8月3日～5日 (金～日)	相模原ビレッジ若あゆ	143名
合計				1,582名

(3) 全国子ども会連合会表彰

- ・7月 子ども会、ジュニア・リーダー組織の表彰
- ・H31年2月 指導者・育成者、指導者組織・育成組織、奨励賞、全国子ども会を退任された代表者への表彰を実施

表彰区分	団体数・個人数
単位子ども会組織(団体)	11団体
ジュニア・リーダー組織(団体)	6団体
シニア・リーダー組織(団体)	1団体
指導者・育成者(個人)	122名
指導者組織及び育成組織(団体)	10団体
奨励賞(団体)	4団体
全国子ども会を退任された代表者	1名

3 講習認定登録事業

(1) 講習認定事業について

引き続き検討課題として継続する。

(2) ジュニア・リーダー講習認定事業

初級		中級		上級	
東京都	10名	埼玉県	22名	札幌市	18名
川崎市	17名	千葉県	41名	青森県	2名
愛知県	24名	東京都	8名	秋田県	1名
高知県	8名	愛知県	9名	埼玉県	13名
北九州市	3名	沖縄県	32名	千葉県	15名
沖縄県	4名	北九州市	1名	沖縄県	5名
合計	88名	合計	113名	合計	54名

4 資料の刊行情報提供事業

(1) ホームページの充実とインターネットの活用

全国子ども会連合会のホームページの充実を図るとともに、県・市子連のホームページ作成を無料で支援。25年度は群馬県、宮城県、茨城県、新潟県、神奈川県、大阪市、神戸市、岡山県、宮崎県に引き続き、26年度は熊本市、東京都、長崎県、三重県、高知県、札幌市、福岡市、奈良県、27年度は、埼玉県、鳥取県、福井県、北九州市、長野県、岩手県を作成、28年度は兵庫県、愛媛県、静岡県、29年度は徳島県、栃木県、30年度は山口県と千葉県ホームページを作成し、合計30県・市子連のホームページを作成。

各県・市子連から作成の相談や、作成したホームページの更新依頼を受けている。

(2) 情報収集・提供

共済事業についてのデータを提供した。

各都道府県・指定都市子連の加入状況のデータをハンマーヘッドでデータベース化する。

5 企業団体等連携事業

(1) 子ども会推奨マーク制度

子どもたちの健全な育成に寄与する商品・サービスとして、全国子ども会連合会が認定
 継続申請 11件・新規申請2件 契約終了3件

商品・サービス名	申請者	商品・サービス内容	備考
リポビタミンDキッズ	大正製薬株式会社	子どもの成長に必要な、タウリン・カルシウム配合のリポビタミンD	継続
Mamorinoシリーズ	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
みまもりケータイ	ソフトバンクモバイル株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続

キッズケータイ	株式会社NTTドコモ	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
Miraieシリーズ	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
ビオサーージュ アウトドア ビオ ミスト	カラーズ株式会社	虫が嫌がる天然精油のアロマで子どもの肌をやさしく守る、アウトドアボディミスト	継続
TONE m15	トーンモバイル株式会社	利用時間や利用機能をコントロールできることで、子どものニーズにも応えつつ保護者の不安を解消した子供用スマートフォン	継続
LEDシーリング 【まなびのあかり】	日立アプライアンス株式会社	文字が見やすく色鮮やかに見えるあかりで、学びの環境を整えるLEDシーリング	継続
メルスプラン	株式会社メニコン	コンタクトレンズ	継続
キッズパック	ソースネクスト株式会社	スマホ学習アプリ、居場所の確認、使用時間を管理できるアプリ	継続
はみつくベア	Hamee(株)	子どもが家でひとりでもスマホを使わず沢山のひとと話ができるクマ型メッセージロボット	継続
ウィルスバスター モバイルシリーズ	トレンドマイクロ株式会社	スマートフォン用ウィルスアプリ	新規
ルームエアコン 白くまくん Wシリーズ	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社	子ども部屋向けルームエアコン	新規
マモリーノ ウォッチ	KDDI株式会社	子ども用に機能制限をした通話もできる防水対応キッズウォッチ	後継機種へスライドするため契約終了
スマモリ	Jiransoft Japan	スマホ使用時間、使用アプリの制限ができるアプリ	契約終了
Wonder Post	インベンションボックス	不特定者ではなく対面登録でつながるメッセージアプリ。	契約終了

(2) サンプルング、企業サポーターについては実績がないが、引き続き推進する。

6 助成金事業

(1) 子どもゆめ基金事業（独立行政法人国立青少年教育振興機構）

スポーツの練習・競技中の「ケガ防止対策」指導者養成講習会

子どもの体験活動におけるケガ防止対策を確立する為には、「メンタル」と「フィジカル」の両面からのアプローチが欠かせないが、後者は、正しく意図的に組み込まれにくいようである。本事業では、その部分を集中的な講義と実習により参加者に習得してもらう事を目的とする。内容は、科学的な根拠と最新の情報に基づく、現場で指導にあたる誰もが実行出来る最も重要な項目とし、その普及にあたる、より多くの指導者を養成する。

上記の目的を果たすため、ゆめ基金に申請した計画どおり、全国9会場で開催し、延べ314名が受講、修了証を授与した。

会場名	共催団体	開催期日	受講者数
松阪市	三重県子ども会連合会	平成30年7月1日	62名

	松阪市子ども会連合会		
【台風接近のため中止】 熊本市	九州地区子ども会育成連絡協議会 熊本県子ども会連合会 熊本市子ども会育成協議会	平成30年9月30日	0名
札幌市	公益社団法人札幌市子ども会育成連合会	平成30年10月6日	39名
岡山県	中国・四国地区子ども会連絡協議会 岡山県子ども会連合会	平成30年10月7日	41名
横手市	東北地区子ども会育成連絡協議会 秋田県子ども会育成連合会 横手市子ども会育成連合会	平成30年12月9日	27名
熊本市	九州地区子ども会育成連絡協議会 熊本県子ども会連合会 熊本市子ども会育成協議会	平成30年12月23日	28名
松山市	中国・四国地区子ども会連絡協議会 松山市子ども会連合会	平成31年1月27日	28名
愛知県	愛知県子ども会連絡協議会	平成31年2月9日	38名
栃木県	関東甲信越静地区子ども会育成連絡協議会 一般社団法人栃木県子ども会連合会	平成31年2月10日	29名
羽村市	特定非営利活動法人東京都子ども会連合会 羽村市子ども会連合会	平成31年3月17日	22名
合 計	9会場		314名

(2) 公募寄付金の募集

※平成30年7月の西日本豪雨被害をうけて、緊急寄付金を募集し終了

名称：平成30年7月西日本豪雨被害緊急寄附金

目的：平成30年7月西日本豪雨災害支援

期間：平成30年7月12日～平成30年9月30日

寄付金の送金先：岡山県、広島県に中四国地区子連事務局を通じて送金

寄付金額：5,515,872円

※平成30年9月北海道胆振東部地震被害をうけて、緊急寄付金を募集し終了

名称：平成30年9月北海道胆振東部地震寄附金

目的：平成30年9月北海道胆振東部地震支援

期間：平成30年9月18日～平成30年11月30日

寄付金の送金先：特に被害の大きかった安平町、厚真町、むかわ町、日高町、平取町に北海道子連を通じて送金

寄付金額：3,290,000円

7 賠償責任保険 保険金請求状況(2019.3.31 現在)

(1) 平成30年度発生事故（報告件数、支払状況）

- ① 対人事故報告件数=4 件
- ・ 支払済件数 3 件 33,620 円
 - ・ 支払対象外・請求放棄 1 件

- ② 対物事故報告件数=177 件
- ・ 支払済 116 件 3,049,889 円
 - ・ 手続き中 40 件
 - ・ 支払対象外・請求放棄 21 件

(2) 平成 29 年度以前発生事故 (2018 年度支払状況)

- ① 対人事故報告件数=0 件
- ② 対物事故=40 件
- ・ 支払済 35 件 1,315,704 円
 - ・ 手続き中 3 件
 - ・ 支払対象外・請求放棄 2 件

8 物販事業

(1) 売上金額 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

4, 484, 036 円

9 共済事業

(1) 加入状況

(単位:名)

幼児	小学生	中学生	高校生	育成者・指導者	計
152,929 名	1,989,488 名	222,924 名	18,203 名	972,916 名	3,356,460 名

(2) 共済金支払状況

①平成 28 年度の事故

支払済み	件数 (件)	金額 (円)	内 訳
死 亡	0	0	
後 遺 障 害	0	0	
疾病・傷害	8	102,381	入院・通院に関する給付
計	8	102,381	

②平成 29 年度の事故

支払済み	件数 (件)	金額 (円)	内 訳
死 亡	1	6,000,000	子ども 1 名
後 遺 障 害	6	3,417,795	子ども 2 名、大人 4 名
疾病・傷害	657	18,124,964	入院・通院に関する給付
計	664	27,542,759	

③平成 30 年度の事故

支 払 済 み	件 数 (件)	金 額 (円)	内 訳
死 亡	0	0	
後 遺 障 害	6	1,907,608	子ども3名、大人3名
疾 病・傷 害	2,289	28,488,931	入院・通院に関する給付
計	2,295	30,396,539	

④合計

支 払 済 み	件 数 (件)	金 額 (円)	内 訳
死 亡	1	6,000,000	子ども1名
後 遺 障 害	12	5,325,403	子ども5名、大人7名
疾 病・傷 害	2,954	46,716,276	入院・通院に関する給付
合 計	2,967	58,041,679	

(3) 立入検査について

平成30年9月26日～9月28日

指摘事項等詳細は別紙2のとおり

(4) 業務委託について

59の県・市子ども会連合組織と共済事業について、業務委託契約を締結し、事務委託費として、33,556,590円を支出。

(5) 準備金等の積立について

①責任準備金について

純掛金×50÷1000＝3,845,434円

平成30年度共済純掛金の総額＝76,910,460円(a+b)

a 23円×3,327,648人(加入者数)＝76,535,904円(前期4月～9月加入)

b 13円×28,812人(加入者数)＝374,556

円(後期10月～3月加入)

②普通支払備金について

29年度分 145,158円

30年度分 3,214,109円

合 計 3,359,267円

③IBNR備金の算出方法

平成22年12月27日付文部科学省告示第百七十五号により告示された定義による。

19,074,027円

④準備金について

c 共済事業経常収益計 186,000,911円

d " 経常費用計 181,469,325円(準備金以外)

剰余金の一部を準備金とする

c-d=4,531,586円のうち906,318円を準備金として計上した。

準備金の今期増加分については、現預金の残額の関係で6月に積立資産に計上する。

(6) 共済会計における財産及び損益の状況

①財産の状況

(単位:円)

項目	平成 31 年 3 月 31 日現在	平成 30 年 3 月 31 日現在
流動資産	34,036,744	44,717,643
固定資産	200,176,375	177,914,126
資産合計	234,213,119	222,631,769
負債合計	199,703,903	191,747,821
正味財産	34,509,216	30,883,948
準備金	135,582,447	130,582,447

② 損益の状況

(単位:円)

項目	平成 30 年 3 月 31 日現在	平成 29 年 3 月 31 日現在
当期収入	186,000,911	195,909,081
当期支出額	182,375,643	179,637,563
事業費	182,375,643	179,637,563
うち共済金	58,041,679	57,809,799
経常外費用	0	0
当期収支差額	3,625,268	16,271,518

(7) 安全普及啓発活動

- ・子ども会安全啓発指導者養成講習会を本格的に全国で展開し、指導者養成を推進することで安全教育を進めた。
- ・「安全啓発」「防災」「交通安全」「スポーツ競技の練習や大会での事故防止」に重点を置き、事故減少に向け県・子市子連、単位子ども会の安全教育の充実を進めた。
- ・スポーツ活動中の事故対策として、事故防止マニュアルの指導本を作成し、専門家によるセミナーを全国9か所で開催した。

①子ども会安全啓発初級・中級・上級指導者認定事業

県・市	初級	中級	上級
北海道	18名	0名	0名
札幌市	0名	0名	0名
青森県	0名	0名	0名
岩手県	7名	4名	0名
宮城県	18名	2名	0名
仙台市	0名	0名	0名
秋田県	0名	0名	0名
山形県	7名	0名	0名
福島県	15名	0名	0名
茨城県	7名	3名	0名
栃木県	10名	0名	0名
群馬県	51名	0名	0名
埼玉県	0名	0名	0名

千葉県	5名	2名	0名
東京都	2名	0名	0名
神奈川県	0名	0名	0名
横浜市	0名	0名	0名
川崎市	0名	0名	0名
相模原市	0名	0名	0名
新潟県	6名	1名	0名
富山県	0名	0名	0名
石川県	11名	0名	0名
福井県	2名	0名	0名
山梨県	0名	0名	0名
長野県	1名	0名	0名
岐阜県	47名	0名	0名
静岡県	4名	6名	0名
愛知県	31名	0名	0名
名古屋市	0名	0名	0名
三重県	0名	2名	0名
滋賀県	0名	0名	0名
大阪府	0名	0名	0名
大阪市	0名	0名	0名
兵庫県	69名	0名	0名
神戸市	0名	0名	0名
奈良県	0名	0名	0名
和歌山県	0名	0名	0名
鳥取県	0名	0名	0名
島根県	6名	0名	0名
岡山県	0名	2名	0名
岡山市	0名	0名	0名
広島県	0名	0名	0名
広島市	0名	0名	0名
山口県	0名	0名	0名
徳島県	0名	0名	0名
香川県	0名	0名	0名
愛媛県	0名	0名	0名
高知県	6名	1名	0名
福岡県	5名	1名	0名
北九州市	0名	0名	0名
福岡市	0名	0名	0名
佐賀県	16名	0名	0名
長崎県	14名	4名	0名
熊本県	0名	0名	0名
熊本市	0名	0名	0名
大分県	0名	0名	0名
宮崎県	10名	0名	0名
鹿児島県	60名	2名	0名

沖 縄 県	0名	0名	0名
合 計	428名	30名	0名

②子ども会安全啓発初級指導者養成講習会

地 区	開催県・市	開催期日	参加者数
北海道・東北	北海道	8月11日～8月12日 (土・日)	9名
	北海道	11月17日～18日 (土・日)	12名
北海道・東北	岩手県	10月27日(土)	7名
北海道・東北	宮城県	6月9日(土)	19名
北海道・東北	山形県	6月24日(日)	8名
北海道・東北	福島県	6月30日(土)	15名
関東甲信越静	茨城県	6月3日(日)	10名
関東甲信越静	栃木県	6月24日(日)	21名
関東甲信越静	群馬県	5月13日(日)	54名
関東甲信越静	埼玉県	5月27日(日)	20名
関東甲信越静	千葉県	7月1日(日)	7名
関東甲信越静	東京都	6月24日(日)	12名
関東甲信越静	神奈川県	6月24日(日)	26名
関東甲信越静	新潟県	7月8日(日)	14名
関東甲信越静	静岡県	7月1日(日)	10名
関東甲信越静	長野県	12月8日(土)	18名
関東甲信越静	長野県	6月30日(土)	25名
東 海 北 陸	石川県	12月2日(日)	11名
東 海 北 陸	福井県	9月2日(日)	6名
東 海 北 陸	岐阜県	1月19日(土)	54名
東 海 北 陸	愛知県	12月8日(土)	31名
近 畿	兵庫県	4月28日(土)	31名
近 畿	兵庫県	2月2日(土)	10名
近 畿	兵庫県	1月26日(土)	22名
近 畿	兵庫県	1月19日(土)	13名
中国・四国	鳥取県	7月7日(土)	2名
中国・四国	島根県	12月22日(土)	6名
中国・四国	徳島県	6月23日(土)	12名
中国・四国	高知県	7月22日(日)	7名
九 州	福岡県	6月23日(土)	18名
九 州	佐賀県	7月8日(日)	18名
九 州	長崎県	6月16日(土)	13名
九 州	鹿児島県	7月14日(土)	62名
九 州	沖縄県	6月10日(日)	52名
合 計			655名

③子ども会安全啓発中級指導者養成講習会

地 区	開催県・市	開催期日（土・日）	参加者数
東北・北海道	宮城県	10月13日～10月14日	7名
関東甲信越静	栃木県	1月19日～1月20日	20名
東海・北陸	愛知県	1月26日～1月27日	17名
中国・四国	岡山県	12月8日～12月9日	4名
九 州	長崎県	9月1日～9月2日	13名
合 計			61名

④子ども会安全啓発上級指導者養成講習会

実施せず。

⑤各縣市子連での安全普及啓発活動の推進のために、5地区38縣市子連に安全普及啓発活動助成金を各10万円限度に交付した。

県・市・地区	活 動 名
北海道	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	子ども会安全啓発指導者養成講習会 (十勝地区地域子ども会育成者研究協議会)
岩手県	平成30年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	川の楽校「大雨に備える！！防災教室」
	平成30年度岩手県子ども会育成研究大会
	平成30年度金ヶ崎町子ども会親善ドッジビーケガ防止講習会&交流会
宮城県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
山形県	安全普及啓発活動関係資料配布
	安全普及啓発活動関係資料配布
福島県	平成30年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
茨城県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	平成30年度 安全啓発研修会（高校生連絡協議会）
	平成30年度 安全啓発講習会（基幹指導者養成講習会）
	中高生のための安全啓発研修会
栃木県	平成30年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	①安全啓発中級講師研修 ②ケガ防止対策指導者講習会 ③その他
埼玉県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
千葉県	安全啓発初級指導者養成講習会
神奈川県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	湯河原町子ども会育成者研修会
	ぼうさい探検隊指導者養成講習会
横浜市	SNSの危険性とスマホの正しい使い方講座

川崎市	シニアリーダー 指定都市子ども会JL川崎大会に向けて KYT初級講座受講
	安全教育研修会
新潟県	子ども交流会（防災教育推進事業）
富山県	広域圏安全教育（KYT等）推進事業（県内6箇所）
	指導員研鑽会 防災ワークショップ
福井県	子ども会安全啓発（KYT）初級指導者養成講習会
長野県	平成30年度安全普及啓発活動
岐阜県	安全普及啓発活動（KYT初級指導者養成講習会）
静岡県	安全教育指導者養成研修会
愛知県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
名古屋市	平成30年度安全講習会
三重県	交通安全教室
滋賀県	平成30年度滋賀県子ども会安全教育研修大会
大阪府	平成30年度安全教育推進研究会 共済事業
	平成30年度大阪府こども会大会 ドッジビーの指導者（補佐）の研修会 共済事業
兵庫県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
和歌山県	安全普及啓発活動
鳥取県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	『まなぼうさい』配布事業（各市町村子連）
島根県	ジュニア・リーダー冬季安全普及啓発活動研修会・安全啓発初級指導者養成講習会
	H30年度 JL春季安全啓発普及研修会 春の防災研修会
徳島県	危険予知トレーニング指導者養成講習会
香川県	市子連安全活動推進事業「KYT登山」
大阪市	安全普及啓発講習会
松山市	2018年度指導者養成講習会子どもの体験活動における「ケガ防止対策」松山市会場
高知県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
福岡県	平成30年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	平成30年度子ども会安全啓発認定指導者研修会
北九州市	2018年度 指導者養成講習会 子どもの体験活動における「ケガ防止対策」熊本市会場
	平成30年度 北九州市子ども会連合会 理事研修会
佐賀県	平成30年度第1回安全啓発初級指導者養成講習会
長崎県	長崎県子ども会安全啓発初級指導者養成講習会 打合せ会
	長崎県子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	第30回記念”少年の船老岐”
	長崎県子ども会安全啓発初級指導者養成講習会 事前打合せ会 夏休み野外活動講習会

	第8回諫早市子ども会リーダー育成者研修会
	リーダーゲッター大会
	KYT研修講座
鹿児島県	安全啓発初級指導者養成講習会
沖縄県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
東北地区	平成30年度 子ども会安全啓発中級指導者養成講習会
関東甲信越静地区	平成30年度 関東甲信越静地区子ども会 安全啓発中級指導者養成講習会
東海北陸地区	子ども会安全啓発中級指導者養成講習会
中国・四国地区	子ども会安全啓発中級指導者養成講習会
九州地区	安全啓発中級指導者養成講習会

(8) 今後の課題

- ① 共済契約者の保護、法令に遵守した健全な運営が求められ、リスク管理の重要性を十分に把握し、さらなる内部管理の強化を今後も継続して進める。
- ② 財務の健全性を保つため、引き続き被共済者の増加促進運動の展開、募集のための費用の見直しや改善、支払事務体制の改善を継続して進める。
- ③ 業務委託先である都道府県・指定都市子連との連携を強化し、リスクの共有により事故軽減のための安全普及啓発運動の展開を推進していく。
- ④ 事故に占める割合がスポーツ事故が大きく、その軽減が重要である。
- ⑤ 共済金の支払い率の格差の是正が重要である。

<その他>

(1) 事務担当者会議

① 平成30年度事務担当者研修

北海道：26名。平成30年4月11日午後 札幌市。12日午前 北海道。

東北（仙台市）：20名。平成30年4月13日 13時～16時。

関東甲信越静（全子連ビル）：25名。平成30年4月16日。13時～16時。

東海・北陸（愛知県）：18名。平成30年4月18日。13時30分～16時30分。

近畿（和歌山県）：15名。平成30年4月24日。13時～16時。

中国・四国（岡山県）：18名。平成30年4月12日。13時～16時。

九州（福岡県）：23名。平成30年4月14日。9時～12時。

政令指定都市（名古屋）：10名。平成30年4月26日。13時30分～16時30分。

内 容：

1. 「PTA等共済法に基づく子ども会の共済事業について」
2. 全子連事業の業務事務について
3. 安全共済会の運営について
4. 安全普及啓発活動について

(2) 傷害保険等の契約

① 傷害（NPO）保険 ————— 各県（政令市）子連事務局の有給職員を対象

・加入者数	156人
・支払保険金	0件
・申請中	1件

② ボランティア活動保険（たんぼぼ） ————— 地域子ども会の育成者・指導者等、
無償ボランティアを対象

・加入者数	5,742人
・支払保険金	2件
・請求待ち	1件
・治療中	0件

II 収益事業

1 全子連ビル管理・賃貸事業

(1) 賃貸事業

① NPO法人東京都子ども会連合会賃貸収入	1,192,320円/年
② 貸し会議室賃貸収入	0円

(2) ビル管理事業

① エレベーター保守点検費用	233,280円/年
② 警備費用	149,040円/年

(3) ビルの建替工事資金と大規模修繕工事費用の積立

① 建替準備資産	当年度繰入	1,646,260円
	当年度末	23,048,090円
② 大規模修繕準備資産	当年度繰入	2,810,000円
	当年度末	0円

(4) 全国子ども会ビル 改修工事（大規模修繕）

期 間 平成30年8月10日～平成30年10月26日

総費用 20,196,000円（税込み） 大規模修繕準備資産2000万円を取り崩す

III 法人の運営について

1. 組織、事務局執行体制の整備と強化

- 1) 共済業務は3人の専門職員により正確で効率的に事務処理をした。
事務局長退職により、新年度は組織の整備を進める。
- 2) ホームページの充実と、システムの活用により県・市子連との情報の共有化を推進した。

2. 総会について

期日	出欠	内容	審議結果
定時総会 平成30年 5月30日	出席者 59名 委任状 8月分名 欠席者 0名	1. 平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日）事業報告及び収支決算書（計算書類）等の承認の件 2. 平成30年度事業計画及び収支予算書の承認の件 3. 役員（監事）の選任の件 4. 定款改正（役員の定年制度）承認の件 報告事項 （1）監事監査報告 （2）共済金支払状況（平成26年度～29年度）報告	承認 承認 承認 否決

3. 理事会について

期日	出欠	内容	審議結果
第1回 平成30年 4月2日	出席者 14名 欠席者 1名 監事 1名 監事 欠席者 1名	1. 臨時総会で取り下げ、継続審議になった定款変更(案)について 2. 第53回中央会議・研究大会の開催日程について 3. 平成30年度事業計画(案)と予算(案)についての確認 4. 平成30年度共済事業審査委員の選任 5. 安全共済会の申込システムについて今後の運営についての承認 6. 磯田元副会長への賠償金の請求に関して、金額の確定について 7. 7月14日～15日の中央会議・研究大会の運営について 8. 報告事項 （1）子ども会認証マークの承認についての報告 （2）未来委員会について （3）全子連ユースについて （4）スポーツケガ防止講習会について	承認 承認 承認 承認 承認 承認

第2回 平成30年 5月10日	出席者 14名 欠席者 1名 監事出席 1名 監事欠席 1名	1. 平成29年度事業報告及び収支決算書(計算書類)等の承認 2. 平成30年度事業計画及び収支予算書の承認 3. 平成30年度定時総会の議題について 4. 定款改正(役員の定年制度) 5. 監事監査報告 6. 報告事項 (1)ミクロネシア諸島自然体験交流事業 (2)子ども会推奨マーク	承認 承認 承認 承認
第3回 平成30年 5月30日	出席者 13名 欠席者 2名 監事出席 2名 監事欠席 0名	1. 新規会員(5名)の承認の件 2. 平成30年度定時総会の議題について	承認 承認
第4回 平成30年 5月30日	出席者 15名 欠席者 0名 出席監事 2名 欠席監事 2名	1. 代表理事(会長・定款22条3項)の選定(定款23条3項) 2. 業務執行理事(副会長・定款22条4項)の選定(定款23条3項) 3. 会長の業務執行に係る職務の代行について及び副会長の順序の決定 4. 全子連事務局長人事について 5. 組織規程の改正について	承認 承認 承認 承認 承認
第5回 平成30年 6月26日	出席者 13名 欠席者 2名 監事 2名 監事欠席者 0名	1. 平成30年度事業の担当理事の選任について 2. 平成31年度事業について 3. 常務理事の処遇について 4. 全子連ビル1階を賃貸することについて 5. 報告事項 (1)第51回中央会議・研究大会の運営について (2)子ども会未来委員会について (3)全子連ユースについて (4)ケガ防止対策指導者養成講習会について	承認 承認 承認 承認 承認

文書稟議 平成30年 7月9日	文書稟議	1. 寄付金の募集について 平成30年7月西日本豪雨被害緊急寄付金を募集する	承認
第6回 平成30年 9月13日	出席者 14名 欠席者 1名 監事出席者 2名 監事欠席者 0名	1. 平成31年度の主要事業について 2. 災害救援募金について 3. 会長会議について 4. コンプライアンス委員の選任について 5. ソフトバンク社との連携について 6. 単位子ども会共済加入システム化について 7. 安全共済会運営の手引き作成について 8. 報告事項 (1) 代表理事・業務執行理事の職務執行状況について (2) 元副会長磯田氏からの謝罪金について (3) 全子連ビルの修繕工事について (4) 平成30年度第52回中央会議・研究大会について (5) 平成31年度第53回中央会議・研究大会について (6) 子ども会安全啓発上級指導者の扱いについて	承認 承認 承認 承認 承認 承認
第7回 平成30年 12月13日	出席者 13名 欠席者 2名 監事出席者 2名 監事欠席者 0名	1. 2019年度事業計画について 2. 2019年度予算について 3. 表彰規程の改定について 4. 全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会について 5. 報告事項 (1) 西暦表示について (2) 全子連ビルの修繕工事の終了について (3) 全国シニア・リーダー実態調査について (4) 子ども会安全啓発-防災-研修会について (5) 子どもの体験活動における「ケガ防止対策」指導者養成講習会について (6) ソフトバンク社との連携事業である「つながる募金」について	承認 承認 承認 承認
第8回 平成31年 3月14日	出席者 13名 欠席者 2名	1. 2019年度事業計画(案)について 2. 2019年度予算(案)について 3. 2019年度共済事業審査委員選任について 4. 共済規程改正(案)について 5. 事務局長人事について 6. 安全啓発指導者認定証について	承認 承認 承認 承認 承認

	監事出席者 2名 監事欠席者 0名	7. ジュニア・リーダー資格認定証について 8. 中央会議での表彰式について 9. 報告事項 (1) 代表理事・業務執行理事の職務執行状況について	承認 承認
--	--------------------------------	--	----------

4. 内部監査の実施

(1) 監査日

平成 30 年 12 月 12 日 16 時～18 時

平成 30 年 12 月 13 日 9 時～10 時

(2) 内部監査委員

丸山康昭

中山ひろみ

「シニア、ジュニア・リーダーが進める子どもの手による子ども会！」

「保護者の理解と参加で子ども会活動の活性化！」

「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！」

